

京都 YMCA 創立 100 周年記念
8 月 2 日 (日) 『平和の集い』 報告
環境委員長 中瀬 康平



第一回目の YMCA 会員委員会「平和の集い」の担当委員会を 5 月 14 日に開催し、委員の岩本ワズ、前ワズ（みやびクラブ）、田中連絡主事と私の 4 人で、100 周年記念という冠を戴いたキックオフ事業である今年の「平和の集い」について話し合いました。協議に入る前に、各々が最近のニュースの中で気に掛かったキーワードを出し合いました。エイズ・ジェンダー・SARS・イスラーム・キリスト教・ブッダ・憲法・住基ネット・有事法案・イラク・北朝鮮・拉致・ブッシュの戦争・グローバルスタンダード・日米安保・日韓安保・日本の平和・危うさ・文明観/平和観/国家観の世代間格差などが語られました。その後、数回の会員委員会での討議を経て、京都大学人間環境学研究所教授 佐伯啓思先生に基調講演をお願いすることになりました。早速 6 月 17 日に今出川 Y にて、佐伯先生にお目に掛かりお話を聞かせて頂きました。先生は中田連絡主事の大学時代のゼミの教授であり、我々にも解る優しい言葉を選んで話してくださいました。国家の二重構造や市民活動の大切さについて教えて頂き、個人授業を受けたようで、非常に得をした気がいたしました。二度にわたる準備会を経て、8 月 2 日当日は、会員委員会や有志が 5 時前からマナホールに集まり、会場準備や打ち合わせを行い、いよいよ 6 時 30 分開会となりました。ワズメン・メネットは勿論のこと、一般の方やリーダーの若者の姿も多く見られ、いつものワズの会とはひと味違った参加者の顔ぶれとなり、それだけでも開催の意義があったかと思っただ次第です。ほんの 2 時間ほどの集会でしたが、長時間にわたる、多くの方々の事前協議や、準備のためのご支援ご指導を頂き感謝いたします。そして、いつものことですが、ウエストクラブのメンバーの応援があって初めて、クラブ以外のところで奉仕させて頂いているのだとの思いを強く感じさせられました。（集いの内容については京都青年をご覧ください）

『地域奉仕事業研修会』参加報告
8 月 3 日 (日)
書記 河合 久美子

8 月 3 日 (日)、西日本区地域奉仕事業研修会が「ひと・まち・交流館京都」(河原町五条下ル)において開催されました。CS 活動は Y サ事業と並んでワズ活動の中核となる部

分だと思いますが、私にとっては入会以来、地域奉仕委員会に所属したことがなく理解に欠けるところが大きいにあるように思われたので、何か得られるところがあれば...と思い今回参加させて頂くこととしました。西日本区各地から 130 名を越える参加者で活気溢れる雰囲気の中、第一部では大野信幸主任の事業方針説明の後、大野嘉宏西日本区理事より地域奉仕事業に関する講演が行われました。シカゴのロータリークラブから発祥した奉仕クラブの歴史に始まり、職業人が集まって情報交換・自己研鑽する中で生まれたエネルギーを社会に還元するということがすなわち奉仕の実践に繋がるのであり、その実現のためには一定のあるべき姿や条件が必要である...というお話をお聞きし、今まで奉仕クラブや活動について漠然としていた頭の中が、理論的な意味付けを得てすっきり整理されたように思いました。第二部では、パネラーによる発題を基に分団討議を行うという形式でした。発題では、CS 最優秀クラブ賞を受賞された大阪センテニアルクラブさんよりアメラジアンスクール支援について、また畑本メネット事業主任よりアフガニスタンの子供達のための絵本大作戦の説明がなされました。センテニアルさんのお話では、米国の軍人とアジアの女性との間の子供であるアメラジアンについて、NPO 団体やテレビ局、西日本区などから資金の援助を得て、「アメラジアンサミット」を開催され成功されたとのことで、地域奉仕事業とはこのような広範囲の活動をも行うことができるのかと思大変印象に残りました。分団協議では多くの意見が交わされましたが、中でも地域奉仕の「地域」のとらえ方が地元の地域密着型なのか、あるいはもっとグローバルな地球規模（特にアジアなど）の地域と考えるのか、という議論がなされた中で、各クラブにより考え方や実際の取り組みも様々であるということが印象に残りました。ウエストも将来的に「地域密着&グローバル」のどちらにも視点を向けて取り組んでいけたらまた拡がりのある活動ができるのではないかと思いました。第三部は、京都第 2 タワーホテルにて懇親パーティーが行われ、各地のワズメンの方々と親しく交流をさせて頂き、実りのある一日となりました。まだまだ地域奉仕についてはわからない点多々あるのですが、関心を持つ良い機会となりました。企画・運営された役員の皆様、ありがとうございました。



参加者：胡内ワズ・中瀬ワズ・中原ワズ・中村ワズ
 野田ワズ・河合ワズ

役員会例会報告
8 月 7 日 今出川 YMCA
EMC 委員長 藤居 一彦

8 月 7 日 (木) 19:00 より、今出川 Y M C A にて、中原書記の司会にて胡内会長 2 回目の役員会が始まりました。今日は、第 10 回の 24 時間チャリティマラソンのアピールに、パレス

クラブの西川ワイズ、YMCAの加藤先生、YMCA介護福祉課の学生の小坂君、プリンスクラブの杉浦ワイズが来られました。役員会に先立ち、臨時総会が行われ、前期の決算報告が問題なく承認されました。その後の役員会では、平安徳義会の夏祭りの内容が活発に討議されました。特にその後のメネット例会の内容は、今年度のテーマでもある環境の件で活発な意見が色々出ており、今年のウエスの活動は、例年とまた少し違う展開に成りそうな予感がしますね！

参加メンバー 胡内ワイズ 中原ワイズ 野々口ワイズ
野田ワイズ 野田メネット 野田コメット 安平ワイズ
島田ワイズ 牧野ワイズ 山下ワイズ 藤居ワイズ
森田ワイズ 中田連絡主事 立山ワイズ 中村ワイズ
寺井ワイズ 中瀬ワイズ 岩本ワイズ 計 19 名



徳義会夏祭り
8月24日(日) 平安徳義会
広報委員長 野田 泰伸



8月24日(日)炎天下の中盛大に開催されました。今年は冷夏で、農作物や夏物商品の伸び悩み等経済への影響も心配されました。しかし今ごろになって猛暑が訪れ、夏らしさを満喫できました。午前中は、櫓の組み立て作業でした。近年、ウエスクラブのメンバーだけで大きな櫓を組み立てることは困難です。徳義会の子供達が手際よく行動し、午前中にはほとんど出来上がりました。お昼は、子供達と一緒に徳義会特製の食事をいただきました。幼児の一人が突然泣き出すと、他の幼児もつられたように泣きだしました。見慣れない人がそばにいと、緊張して泣き出してしまおうそうです。十分体力が充電できたところで、午後の準備開始。といってもくつろいでいた、といった方が正解でしょう。午後3時には、メネットさんが次々と登場し、本格的な食材の準備が始まりました。ベテランメネットさんの手際よい準備で、午後5時過ぎには焼きそばの試食が出来ました。浴衣に衣替えした子供達も次々と現れ、午後6時には予定通り、吉田先生の開会の合図で開店できました。まずは、焼きそば、とうもろこしがフル回転、しかし子供達が作ったチョコバナナの方がもっと売れていました。ヨーヨーつりも風船が不足するほどの大盛況でした。ふと気が付けば、胡内会長のあいさつが聞こえてきました。盆踊りも盛り上がり周囲では久しぶりに会ったOB達が楽しそうにはしゃいでいました。年々成長していく子供達と顔をあわすウエスは、年々歳を重ねて行きます。いい汗を流した一日でした。

メネットコーナー
中原 優子メネット

～息子たちの夏～



友達と恒例の海水浴に行った長男は自分でイラスト入りのしおりをつくりひとりあれこれ段取りをしナ・パスな出来事にもめげず3日間を100倍楽しんだ。自分のことより他人を気遣うことができる長男はエライ

サマ・ナイトコンサ-トで♪きみといつまでも♪を歌った次男は決していい声とは言えないがのびのびと歌っていた。な

～んかはげまされた。

「絶対に見に来るな」と言われたけれど、野球部の応援...と言うよりも応援団の三男を見るために西京極球場まで自転車を走らせた。手に汗にぎる試合についあつくなくなってしまいが合ってしまった。しばらく口もきいてもらえず...でも翌日の新聞に偶然三男がトランペットをふいている姿が載っていて感激！

おしゃべりが大好きな四男は中学生になり吹奏楽の部活に一生懸命でワイズがご無沙汰だと主人がつまらなそうな...さて、立山さ～んご無沙汰です。最近何かいいことありました？10月号楽しみにしています。

参加メンバー：胡内、胡内メネット、森田メネット、中村寺井、藤居、立山ファミリー、鈴木メネット、中原、桂、山下、牧野、野々口、野田ファミリー

